

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年11月10日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年11月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|---|------|-------|
| 1 | <p>【淡水化装置(RO3-3)高圧ポンプからの油のにじみについて】 当直員が淡水化装置(RO3-3)高圧ポンプのクランクシャフトカバーフランジ部から油がにじんでいることを確認。淡水化装置(RO3-3)を停止して、油の拭き取りを実施。油のにじみがないことを確認。 今後、他の淡水化装置へ切り替え、ポンプの交換修理を検討。</p> | GⅢ | 11月6日 |
| 2 | <p>【淡水化装置(RO3-4)高圧ポンプからの油のにじみについて】 当直員が淡水化装置(RO3-4)高圧ポンプのクランクシャフトカバーフランジ部から油がにじんでいることを確認。淡水化装置(RO3-4)を停止して、油の拭き取りを実施。油のにじみがないことを確認。 今後、他の淡水化装置へ切り替え、ポンプの交換修理を検討。</p> | GⅢ | 11月6日 |
| 3 | <p>【気象観測用湿度記録計の記録不具合について】 協力企業作業員が免震重要棟監視室の気象観測用湿度記録計において、記録用紙の記録枠外に振り切れて記録されていることを確認。 気象観測用湿度記録計は気象観測小屋にも設置されており、同様な記録がされていることを確認。 調査の結果、湿度を電気信号に変換している「湿度計発信器」の動作不良が原因と推定。 今後、「湿度計発信器」の交換修理を検討。 実施計画で記録要求がある設備ではなく参考値として扱っている設備であるため、運用上の問題はない。</p> | GⅢ | 11月4日 |